

編集後記

まずお詫びしておかねばならないことは、編集の号数を感じ違いして執筆者に大変ご迷惑をおかけした点です。第51号の編集だとばかり思っていましたので、原稿を九月末日の締め切りにしました。その後第52号の編集だとわかり、済まないことになったと大変恐縮致しました。早く原稿を送ったにもかかわらず、なぜ発行されないのかと執筆された方々がご不満を懐かれたことと思います。全く編集者の不手際が原因です。深く御詫び申し上げます。

次に予定していた原稿が出揃わなかったために、第51号の編集者にお願ひして一部原稿のさしかえをしました。執筆者に御諒承方をお願い致します。

また本号の発行が予定より遅れましたのは、前号までの発行が遅延しているためで、早くご投稿いただいた方は鶴首の思いをなさつたとと申しわけなく思います。

本号には佐藤満洋氏が第49号に続いて、「辺地における近世農村の成立」(二)を、小玉洋美氏が「杵築藩における」を。共にこれまで殆んど手がつけられていなかった分野で、大変啓発されることが多く、大方の関心を惹くものだと期待されます。

最後に、毎回感じるのですが、地方在住の会員にもつとどしどしご投稿をお願いしたいものです。いろいろな方々がヴァラエティーに富んだテーマで、本誌をにぎわしてもらいたいものと切望します。

(染矢)

昭和四十三年十二月二十日印刷
昭和四十三年十二月二十五日発行

編集人 染 矢 多喜男

発行人 渡 辺 澄 夫

印刷人 高 井 久 雄

大分市上野町七番二十五号

三恵印刷株式会社

電話⑤〇一二三番

大分市且ノ原

大分大学教育学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替下関五二九四番)